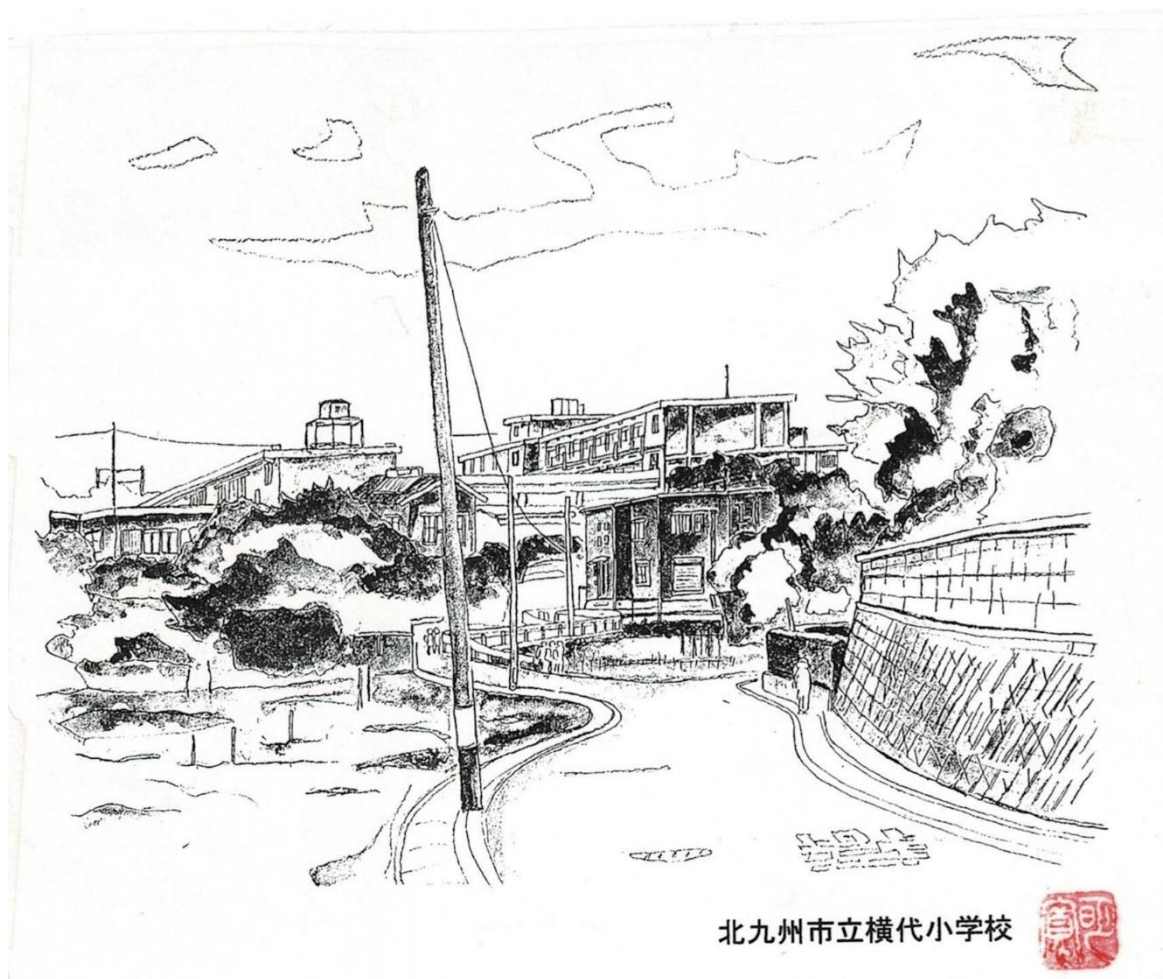


横代校区の元気プラン 2024~2028

住民発！

横代校区 小地域福祉活動第一次計画



北九州市立横代小学校



 ふれあいネットワーク

横代校区社会福祉協議会

ごあいさつ

横代校区は、古くから農業が盛んで自然豊かな場所です。大型団地の開発や住宅地の整備により新興住宅地として発展して来しました。

校区には横代神楽、しび着せまつりなど歴史のある伝統行事もあり、また市民の憩いの場でもある総合農事センターもあります。

稗田川での小学生釣り大会や、竹灯籠まつりなど校区主催のイベントも盛りだくさんで皆様からご好評を頂いています。

近年は防災事業にも力を入れており、校区の取り組みは糸島をはじめ佐賀や水俣からも視察に訪れるほどです。

こうした様々な取組等も、皆様のご協力あつての賜物と考えております。

これからも、横代校区発展のためにより一層のご協力をお願い申し上げますとともに挨拶に代えさせていただきます。



横代校区社会福祉協議会
会長 小清水 栄



もくじ

ごあいさつ …… 1 p

第1章 計画策定にあたって …… 2 p

- 1 計画の性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の策定経過

第2章 横代校区の現状と課題 …… 3 p

- 1 地域の特性や福祉課題
- 2 人口・世帯数・高齢化率
- 3 社会資源

第3章 計画体系 …… 4 p

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 実施項目（体系図）
- 4 重点実施項目

第4章 計画の推進 …… 7 p

- 1 計画の承認と周知
- 2 計画を推進するための体制
- 3 第二次計画の策定
- 4 横代校区小地域福祉活動計画
策定委員会委員名簿
- 5 横代校区小地域福祉活動計画の
策定状況

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、横代校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、横代校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 横代校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6年度～令和10年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

横代校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、横代校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。

令和6年1月15日に立ち上げた同委員会において、12名の委員により5回に及ぶ協議の上、横代区小地域福祉活動計画を策定しました。(参考資料を参照)

第2章 横代校区の現状と課題

1 地域の特性や福祉課題

横代校区は、小倉南区の中央に位置し、区域の多くを山林が占めるほか、剣立山、稗田川と豊かな自然に恵まれる地域であり、北九州市立総合農事センターをはじめ長野緑地公園と自然を満喫できる地域でもあります。校区内には学校や市民センター、医療機関等の社会資源は充実していますが、交通の便については丘陵地帯での不便さも見受けられます。最近では平成 17 年度に大型商業施設が開設され、住民の買い物のスタイルも大きく変容しているところです。高齢化も進んできており、世帯構成についても高齢者の単身世帯が占める割合が高い地域です。

横代校区では平成10年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の影響もあり、また横代校区内の高齢化率も高いため、福祉協力員等福祉活動者の平均年齢も高く、福祉協力員1人当たりの見守り世帯も30世帯と、負担が大きくなってきています。そのために校区内では福祉活動者の早急な育成が求められています。

2 人口・世帯数・高齢化率

	2003年 (平成15年)	2013年 (平成25年)	2023年 (令和5年)
人口	14,695	14,658	13,884
世帯数	5,710	6,500	6,971
高齢化率	16.1%	22.5%	29.2%

3 社会資源

小学校	北九州市立 横代小学校
中学校	北九州市立 横代中学校
福祉施設	特別養護老人ホーム 明静苑 障害者施設 天満会
医療機関	セントラル病院
主な商店等	サンリブシティ コスモス ハローデイ 各コンビニ
その他	小倉南障害者地域活動センター あゆみの会

第3章 計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

横代校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉を学び合い、助け合いの意識を高めよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちへの福祉教育を通じて、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 住民同士のふれあい・交流を深め「活動力」をたかめよう

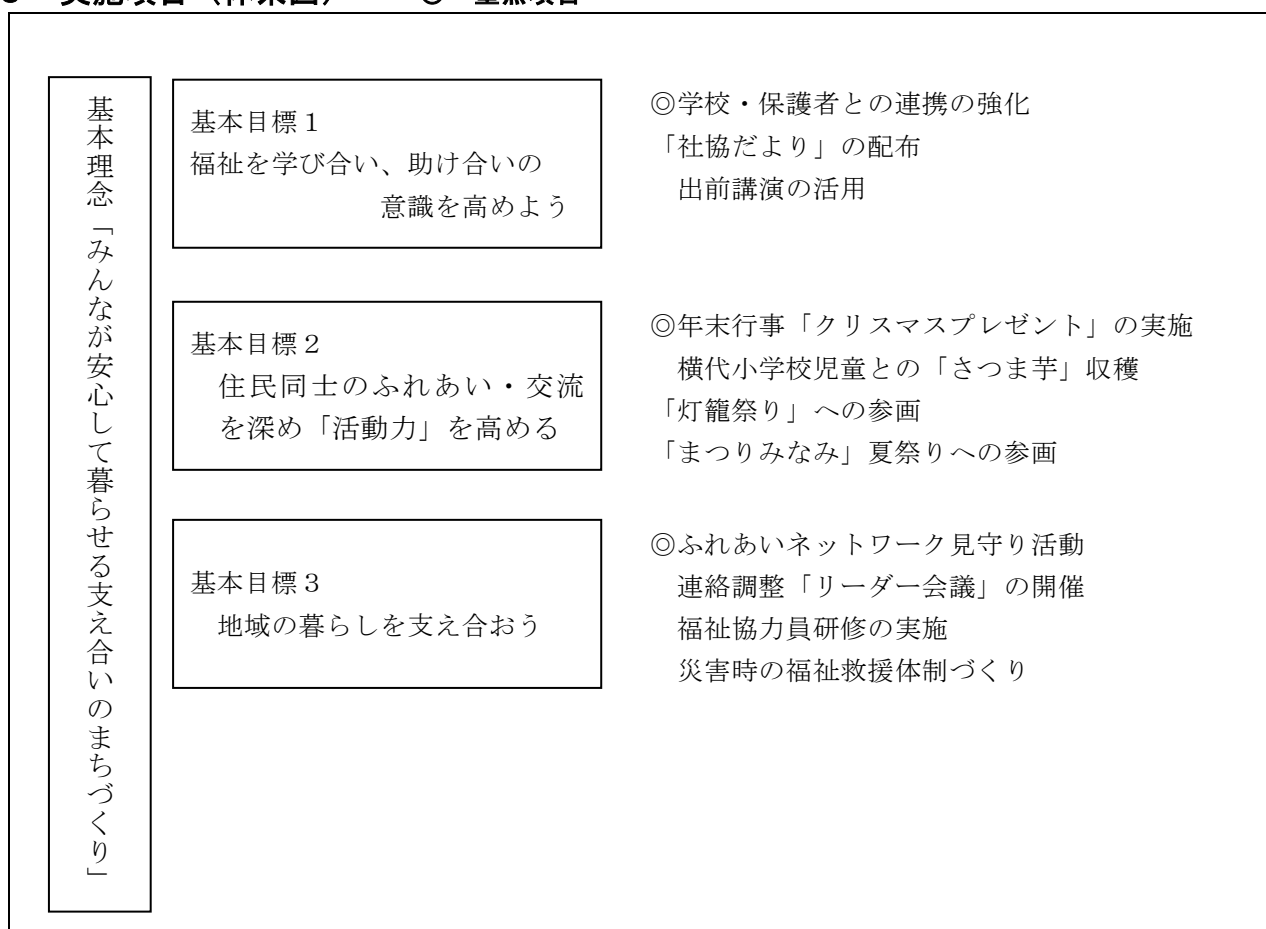
地域交流の場所の設置やイベントを企画して、住民間のつながりを強めていきます。

活動者の募集や育成、活動財源の安定的な確保に向けた活動を通じ、地域の活動力を強化します

(3) 地域の暮らしを支え合おう

地域住民みんなが安心して暮らせるよう公私の社会福祉関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動をすすめます。

3 実施項目（体系図） ◎…重点項目



4 重点実施項目

重点実施項目 1		学校・保護者との連携の強化					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
「さつま芋」の植え付けから収穫迄の過程で横代小学校 1～2(特支含)生との交流を今後 PTA を含めた連携活動で強化を深めて行く。							
2 活動の方針・目標							
コロナ禍の3年間は「さつま芋」の収穫作業に重点を置いていた活動を、今後 PTA の参加で収穫以外の「植え付け」「雑草駆除」など徐々に交流をより深く進めたい。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
「さつま芋」 主に収穫作業の交流	小学校・PTA 老人会 婦人会						保護者の随時参加 (子供達の引率) などを含む
「植え付け」「雑草除草」	小学校・PTA 老人会 婦人会						保護者含めての作業

重点実施項目 2		年末(年始)行事の充実					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
横代校区では、社協設立以前から、年末に1年の労をねぎらうとともに、地域交流の一つとして、75歳の一人暮らしを対象に「クリスマスプレゼント」を対面で実施し、コロナ禍で改めてその意義を見出したところです。							
2 活動の方針・目標							
時代に即した形で年末年始行事を継続実施し、必要があれば実施方法や新規の取り組みを加えていきます。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
クリスマスプレゼント実施 75歳以上の一人暮らし対象	ふれあいネット ワーク協議会 婦人会						時代に即した形で の行事の実施
実施方法の検討と反省							
75歳以上の一人暮らしの 対象者とのふれあい							

重点実施項目 3		ふれあいネットワーク「見守り活動」					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
横代校区では高齢化率が約 30.0%と高く、また全 6,971 世帯中約 1,200 世帯が高齢者の単身世帯である。ひきこもりや閉じこもりの生活をしている方も少なくないため、福祉協力員による見守り対象の高齢者の間でも「話相手が欲しい」との要望が多く聞かれるようになっていきます。							
2 活動の方針・目標							
日頃の安否確認を構築し、高齢者が気軽に立ち寄れるサロンを開設し独居世帯間の交流を解消していける仕組みをつくります。又定期的「リーダー会議」での「福祉活動アンケート」を参考にして自治会間相互の交流を深めます。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
福祉協力員・民生児童委員による見守り実施	市民センター 校区社協 ふれあいネットワーク協議会 防災委員会						見守り対象者全員実施
災害時の安否確認							防災訓練時の安易確認(対象者全員)
サロン開設							市民センター内に設置

第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- ① 横代校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、横代校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な計画、実施
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

4 横代校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿（敬称略）

	氏名	所属団体	役職	備考
1	小清水 栄	横代校区社会福祉協議会	会長	委員長
2	下原 信雄	横代校区社会福祉協議会	副会長	
3	大迫 正勝	横代校区社会福祉協議会	副会長	
4	松田 弘志	横代校区ふれあいネットワーク協議会	会長	
5	林田 幸年	〃	副会長	
6	児玉 敏博	〃	〃	
7	前田 ますみ	〃	〃	
8	上山 直子	〃	会計	
9	岩谷 茂幸	〃	会計監査	
10	宮崎 明寛	〃	事務局長	
11	今井 ヤス子	〃	事務局次長	
12	小清水 勉	青少年育成協議会	会長	

5 横代校区小地域福祉活動計画の策定状況

回	開催日	参加人数	主な協議事項
1	令和6年 1月 15日	5人	役員会 1 計画策定委員会委員抽出
2	令和6年 1月 23日	8人	委員会 1 概況報告、計画案抽出
3	令和6年 1月 30日	8人	委員会 1 「横代元気プラン」の策定決定
4	令和6年 2月 13日	12人	委員会 1 企画書 作成
5	令和6年 2月 27日	20人	委員会・関係団体 1 関係者説明会

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

横代校区社会福祉協議会

〒802-0822 北九州市小倉南区横代東町 4 丁目 13-1 横代市民センター内
TEL 093-962-1731 FAX 093-962-1744

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園 5 丁目 1 番 2 号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号ウエルとばた内
(代 表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351
<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>